

日時:8月29日(木) 13:00 - 15:00

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「ラ ヴェラ」



共催:宇宙航空研究開発機構(JAXA) / 国際熱帯木材機関(ITTO)

## 森から世界を変える

—アフリカにおけるより良い森林ガバナンスのためのイノベーティブな技術・アプローチ—

### 背景

JICAと宇宙航空研究開発機構(JAXA)は2015年に「森林ガバナンスイニシアティブ」を立ち上げ、その下で、約80カ国においてJAXAの衛星ALOS-2を活用し森林減少を検出するJICA-JAXA熱帯林早期警戒システム(JJ-FAST)の運用を開始した。こうしたグローバルレベルの努力およびさまざまなステークホルダーとの協働を通じ、アフリカ諸国が衛星技術の活用や法制度などガバナンスを改善し、持続可能な森林管理を促進し、森林資源利用にかかわる関係者(行政、民間事業者、住民等)の行動変容も伴い、ひいては気候変動対策に貢献することが期待される。

### 目的

先進技術や法制度整備などによりアフリカ諸国がいかに効果的に持続可能な森林管理を推進できるか、森林資源利用側の行動変容をどう促進できるか、また開発パートナー、民間森林事業者、市民社会はどのように貢献できるかについて議論する。

### キークエスチョン

- ▶ アフリカ各国が森林ガバナンスにおいて抱える課題とは？
- ▶ 適切な森林モニタリング上の障害と、そのブレークスルーとは(政策、法制度、関係機関の連携、住民参加、行動変容(地域コミュニティ、民間企業等)ツール)？
- ▶ 森林資源の持続的利用に果たす投資・基金の役割、民間セクターが考える制約要因とは？

### 登壇者

Mr. Benjamin Toirambe コンゴ民主共和国環境持続的開発省次官  
Dr. Ibrahim Mohamed ケニア環境森林省首席次官  
Dr. Gerhard Dieterle ITTO 事務局長  
市川 晃 住友林業株式会社代表取締役執行役員社長  
熊平智伸 KOMAZA社コーポレートファイナンスダイレクター  
井上泰子 森林総合研究所国際連携・気候変動研究拠点REDD研究開発センター シニアリサーチャー  
林野庁(調整中)  
舘 和夫 JAXA 第一宇宙技術部門理事補佐  
天野雄介 JICA 理事  
森田隆博 JICA地球環境部審議役兼森林・自然環境グループ

言語:

日本語

英語

仏語